

IALCCE2023での研究発表



目で見る
海外論文発表

蔣 鋒*

Presentation at IALCCE2023

Key Words : Corrosion, GAN, Paint-coated steel

<参加会議名>

Eighth International Symposium on Life-Cycle Civil Engineering (IALCCE2023)

<開催場所> Milan, Italy

<渡航期間> July 01-07, 2023

<発表タイトル>

A deep learning-based corrosion prediction model for paint-coated steel with defects

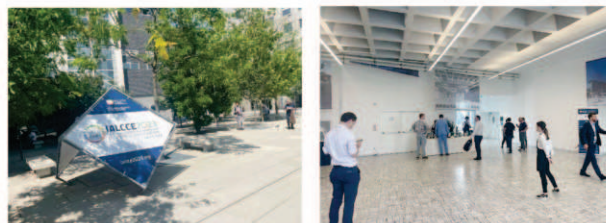
このたび、イタリア・ミラノで開催された「第8回ライフサイクル土木工学国際シンポジウム (IALCCE2023)」に参加し、発表を行いました。この会議は、土木システムのライフサイクルに関する評価、設計、維持管理、リハビリテーション、モニタリング等、多岐にわたる内容を取り扱っています。セッションの主目的は、ライフサイクル土木工学分野の最先端研究を集め、技術開発や実用化の促進を目指すものでした。IALCCEは、66カ国から800人以上の個人会員と約30の団体会員が集まる大規模な組織で、世界各地の研究者、エンジニア、建築家などが新しい知見を共有する場として重要な役割を果たしています。

私の発表内容は、「GANベースのディープラーニングを活用した塗装鋼材の腐食進行予測」でした。インフラ鋼構造物の老朽化は世界的な課題であり、

腐食は特に重要な問題点となっています。これに対する効果的なモニタリングやメンテナンスには、多大な費用を要しています。私の研究では、ディープラーニングを活用して腐食の進行予測を迅速に行い、メンテナンスコストを削減する可能性を示しました。15分の発表の後、多くの参加者から興味深い質問を受け、有益なディスカッションが行われました。また、5日間の会議中、多くの優れた研究が紹介され、非常に学びの多い時間となりました。

イタリア滞在中、日本とは異なる文化や生活習慣に触れることができ、これは海外経験ならではのものでした。この経験は、私の国際的視野を一層広げるものとなりました。

最後になりますが、私の研究活動を常にサポートして下さる先生方、そしてこのような貴重な海外発表の機会を提供して下さいました日本生産技術振興協会に心からの感謝の意を表します。



発表の様子 / 会場の風景



* Feng JIANG

1994年3月生まれ
大阪大学大学院 工学研究科 地球総合工学専攻 博士後期課程 (2023年)
現在、大阪大学大学院 工学研究科 地球総合工学専攻 社会基盤工学部門 社会基盤工学講座 構造工学領域 特任研究員 PhD (2023)
TEL : 07023066039
E-mail : f-jiang@civil.eng.osaka-u.ac.jp